

平成25年度第3回子ども・子育て会議 会議録

- 日 時 平成26年3月13日(木) 14:00～15:45
- 場 所 鎌ヶ谷市総合福祉保健センター 4階研修室
- 出席委員 山本会長、西副会長、引田委員、松岡委員、加郷委員、
長谷川(美)委員、松村委員、中村委員、菊池委員、皆川委員、
石神委員、長谷川(そ)委員、榎本委員、鈴木委員、中井委員
- 事務局 望月健康福祉部参事(こども課長)、
田中健康福祉部参事(健康増進課長)、飯田保育支援室長、
鈴木子育て総合相談室長、大木こども発達センター所長、
菅井健康増進課主幹、大野こども支援室長
こども支援室：星主査、乗田主任主事
- 記 録 乗田
- 傍 聴 者 なし
- 議 題 (1) 鎌ヶ谷市子育て支援に係るアンケート調査結果について
(2) 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて
(速報)
(3) 教育・保育提供区域の設定について
(4) その他

会 議 内 容

1 議 題

(1) 鎌ヶ谷市子育て支援に係るアンケート調査結果について

～事務局より資料1に基づき説明～

(2) 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて(速報)

～事務局より資料2-1、資料2-2、資料2-3、資料2-4に基づき説明～

委 員 南部地区において一時預かり事業のニーズが他地区よりも多いのに、
なぜ南部地区には、保育園がないのか。

事務局 南部地区と西部地区の隣接部分には北初富駅があり、駅の近くにおお
ぞら保育園、南部地区と中央地区の隣接部分には、東武鎌ヶ谷駅があり、
駅の近くには道野辺保育園があります。いずれも通勤エリア等を考慮し
設置されたものと考えております。

(3) 教育・保育提供区域の設定について

～事務局より資料3に基づき説明～

委 員 1区域の案に賛成。

委員 市域の大きさや施設の建設に係る費用など考えると1区域の案がよい。

委員 前回の会議では、コミュニティエリア6区域がいいと考えていたが、中央地区のニーズは多いが、それを補えるだけの施設を中央地区で整備していくのが難しいと思うので、1区域か2区域の案がよい。

現在の待機児童の人数は、少ないように思ったのですが、あくまでも、申請した人の中での待機児童であって、実際には、申請しようと窓口で話をして中々入れない状況を聞いて、申請を諦める人もいるので、潜在的には待機児童はもっといるということで、待機児童対策を行ってほしい。

委員 基本的には、1区域の案がいいと思うが、2区域に分けた場合、西部地域と東部地域のどちらかで施設整備を進める場合、すり合わせが必要になってくるのか。

事務局 地区ごとに教育・保育の偏りがないように整備していかなければならないので、2区域に分けた場合、すり合わせが必要になってくると考えています。

委員 保育園利用のニーズ量が地区によって異なっているのが特徴だと思う。区域数を少なくすることで、各区域のニーズ量のバランスを整えるメリットがあると思う。また、施設を整備していくには、税金を投入することが考えられるので、市全体で考えたほうが効率的だとも思う。

既存の幼稚園の施設と協力を得る施策を進め、ニーズ調査の結果を十分考慮したうえでの1区域の案が良い。

会長 それでは、鎌ヶ谷市子ども・子育て会議では、教育・保育提供区域を1区域とします。ただし、今回実施したニーズ調査の結果を十分考慮し、実施していただきたい。

3 報告事項

(1) 子ども・子育て支援新制度施行に際し必要な条例の制定について

～事務局より資料4に基づき説明～

会議録署名人署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証明するため、次に署名する。

平成26年4月18日

氏 名 長谷川 美樹

氏 名 松村 幸江